

### 亀山八幡宮 本殿遷座祭

本殿などを改修中の亀山八幡宮(竹中恒彦宮司) 中之町で1日夜、ご神体を仮殿から本殿に戻す本殿遷座祭があり、神職や総代ら約40人が出席した。  
同八幡宮は7月中旬から総事業費約8千万円をかけ、1989年の儀式殿造営以来の大規模な改修を行っている。本殿の屋根ふき替え、社殿の外壁塗り替え、石畳の舗設、儀式殿の防水加工などを施す。

ご神体は本殿の屋根ふき替え工事を前に、8月に本殿から境内の末社、宮地嶽神社に移されていた。9月末に屋根の工事が終わったため、ご神体を仮殿から本殿に戻した。  
改修は来年5月ごろに終了する予定。



ご神体を本殿に戻す神職ら11日夜、中之町の亀山八幡宮

### ご神体を本殿へ 56年ぶり遷座祭

下関・亀山八幡宮

下関市中之町の亀山八幡宮で1日夜、本殿の修復に伴って仮殿へ移していたご神体に戻す「本殿遷座祭」があった。1958年に本殿が造営されて以降、56年ぶりの神事。総代約30人が参列し、神職が厳かにご神体移した。  
平安初期の859年に創建され、「関の氏神」として親しまれている神社。創建から1155年の節目を迎え、記念事業として総事業費8千万円の修復工事を進めている。8月1日にご

神体を境内にある宮地嶽神社に移し、本殿の屋根を張り替えた。  
2カ月ぶりにご神体の本殿を迎え、竹中恒彦宮司は「なかなか経験できない神事。緊張が解けてホッとしている」と話した。

(貞松慎二郎)